

東京教区時報

第1040号
2007年6月17日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 伊藤裕元

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: comm.tko@nskkn.org
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

▽聖三一教会文化講演会 歴
史小説家・童門冬二講師による
演題「歴史に学ぶ日本人の
心」、本日17日(日) 14時〜15
時半。入場無料。照会電話03(3
421)3646。
▽三光教会講演会「いじめの
問題を考える」 小川正夫(聖
ステパノ学園)講師による教育
と現場からの話。6月24日(日)
14時〜。入場無料。照会電話03
(3781)2554。

◆としえの平安

5月20日 竹内袈裟雄(72)
5月22日 菅野 トキ(87)
5月23日 油木真一郎(95)
聖マーガレット
目白
目白

今週・来週の予定 6月17日~30日

- 17(日) 聖霊降臨後第3主日
主教巡回
阿佐谷聖ペテロ教会
- 18(月) 財政委員会
- 20(水) 教役者レクイエム
正義と平和協議会懇談会
- 22(金) 城南G牧師協議会
(聖オルバン)
- 23(土) 信徒講座:雨宮神父(聖ルカ)
- 24(日) 聖霊降臨後第4主日
主教巡回
立教学院諸聖徒礼拝堂
- 26(火) 銀座朝祷会
正平協運営委員会
- 28(木) 多摩G牧師協議会(小金井)
信仰と生活委員会
- 29(金) 教区企画室

◆教役者レクイエム

6月20日(水) 10時半
主教座聖堂で

5月27日 木村 和枝(73)
5月31日 八木 治樹(35)
6月5日 立花 緑(95)
聖パトリック
聖アンデレ
三光
▽伝道師梅本惣吉▽司祭秋
山基一▽伝道師山口千里▽司
祭山縣与根二▽司祭東信行▽
司祭山縣雄杜三▽司祭伊木久
次郎▽司祭宅間信基▽司祭寺
井俊健▽伝道師山田ちよ▽司
祭堀正一▽司祭山崎正雄▽司
祭大野俊朗

《掲載記事の転用可(事前連絡要)》

聖霊降臨日を迎えるにあたり、礼
拝のお説教の中で、自由の束縛・制
限という話がなされた。アダムとエ
ヴァ、バベルの塔に代表されるよう
に、自由のはき違いにより時間的・
空間的な制限を
受けるというも
のである。ふと
気づくと、温室
効果ガス排出の
地球温暖化にし
ても、戦争・内
紛・テロにして
もそれぞれに主張と正義がある。最
善といえる解決策が無い中、上手な
着地点、適切な落としどころとはど
こにあるのだろうか。
私の教会の委員会においては、難
問のある横槍が入る。不謹慎なことか

落としどころ

松原 真

聖霊降臨日を迎えるにあたり、礼
拝のお説教の中で、自由の束縛・制
限という話がなされた。アダムとエ
ヴァ、バベルの塔に代表されるよう
に、自由のはき違いにより時間的・
空間的な制限を
受けるというも
のである。ふと
気づくと、温室
効果ガス排出の
地球温暖化にし
ても、戦争・内
紛・テロにして
もそれぞれに主張と正義がある。最
善といえる解決策が無い中、上手な
着地点、適切な落としどころとはど
こにあるのだろうか。
私の教会の委員会においては、難
問のある横槍が入る。不謹慎なことか

教区フェスティバル

新たな息吹と趣向のもとで

今年の教区フェスティバルは9月24日(月・休日)、立教小学校(池袋)で開かれる。実行委員長・笹森田鶴司祭ら実行委員による企画で準備が進められていて、6月30日(土・14時)には聖アンデレホールで、各教会連絡員を迎えて第1回連絡会を開催すまでに至っている。

テーマは「開く、信じる、食べる」で、10時半からの礼拝(聖餐式)と午後のイベントが中心。礼拝・イベント部門には加藤俊彦司祭・岡村忠平(聖パウロ)担当チーフがそれぞれ就き、着々と企画・準備を推進。恒例化色の濃い教区大催事ながら、新たな息吹と多彩な趣向で練り広げら

れる「教区大礼拝と交歓の宴」を期待し、参加したいものである。「追って詳報」

実行委員長談：「テーマは、わたしたちがキリストに招かれて共に食卓を囲む集まりであり続けることを切に願い、選ばれた言葉です。神さまご自身が自らを開いてわたしたちを引き寄せてくださいること、わたしたち自身も開かれて神さまへ応答し、共にいる信仰の友との交わりでも互いに心を開いていること、与えられている信仰の道程を信じ、互いに信頼し合うこと、そして何よりもキリストの招いてくださる食卓を共に囲み、食すること、そして再び開かれていくことへ…。この連動を一緒に皆さまと分かち合いたいと存じます。」

▽兩宮慧神父による信徒講座
②「欠けたものである人間にとつて罪とは何か」(信仰と生活委員会主催) 6月23日(土) 14時～16時、聖ルカ礼拝堂。参加費〇自由献金。照会は教区事務所宣教主事宛。

▽東京諸聖徒教会・MD姉妹教会交流プログラム 創立125周年の昨秋、MD(メリーランド)教区から「王なるキリスト教会」の牧師夫妻を迎えた折、同牧師の出身教区ウエールズ(英国西南部)の古い教会を訪ねる旅が提案され、今回の訪問・交流プログラムが実現した。6月19日～29日、同教会牧師ら10数人と、山野司祭、諸聖徒・目白聖公会信徒6人が参加、新たな交流を深める。

【学びと働きから】47

バーンサバイ共の会

元HELPスタッフ早川文野さん・青木恵美子さんお二人がタイにおけるHIV感染者・エイズ患者のシェルター「バーンサバイ」を立ち上げてから5年。昨年12月には手狭になったチェンマイ市内から郊外サラピイに移転し、患者さんの部屋も増え充実したものになりました。私たちは、この人々に対して哀れみや同情でなく「貧しくされ、差別された人々と共に歩まれたイエス様に従っていくだけ」という信仰のもとに、神様から与えられた命を持つ同じ人間として支えあい分かち合うというバーンサバイのスタッフ一人ひとりの生き方に、共感を覚

え、この働きに共に与り、支え合いたいと願い、先頃、教区内数人の有志で「バーンサバイ共の会」を立ち上げました。

活動報告会の開催や、スタディツアー、ボランティア活動参加など計画中ですが、緊急の課題として移転により交通の便が悪くなったため、訪問者のために「ゲストハウス」が必要というところで、いま建設費・維持献金カンパ活動に取り組んでいます。皆様の協力のおかげで建物だけは無事、完成にこぎつけました。内部の設備等は未だ手付かずの状態ですが、引き続き皆さまのご支援・ご加禱をいただけますと有難いです。

バーンサバイ共の会

代表 佐々木紀久江

《今、この教会では…》

神愛教会

当教会のオーガニストは今、大変、充実しています。これまでは他の教会の方々にお手伝い願ひ、ヒムプレーヤーも駆使して主日礼拝を過ごしていたのですが、昨年からは3人のオーガニスト(小学生とビギナーも含む)が加わりました。まだお手伝いが必要なながらも今後のために勉強の機会をと考えていた矢先、小金井聖公会の菊池泰子さんが講師を引き受けてくださり、今春から月1回、当教会のためのオーガニスト研修会を開いています。会衆全員が温かく見守りながら思いのこもった礼拝になつていきます。これぞ神さまのお恵みと感じる次第。(渡辺定夫)